

この選挙公報は、
平成26年6月15日

に行われた
松戸市長選挙の
ものです。

松戸市長選挙公報

平成26年6月15日 執行
松戸市選挙管理委員会

積み上げてきた4年間の実績、2期目は「文化の香りがする街づくり」へ積極投資

主な取組み	これまでの実績	これからの政策
<p>子育て・教育 文化を大切に街づくり</p> <p>人と人のつながり 大切にする街づくり</p> <p>魅力的な街づくり</p> <p>行政・財政改革</p>	<p>○子育てに熱心な都市ランキングで全国2位にランキング ○松戸市で初めて文化といふ名のつく「文化観光課」を作り、松戸市の文化芸術振興基本方針を作成しました。 ○子供医療費補助を中学3年まで拡大しました。 ○放課後児童クラブ利用料金を1万5千円を1万2千円に引き下げました。 ○千葉大全体、聖徳大と包括的な協定を結び、松戸の街づくりに協力していただくことになりました。</p> <p>○在宅看取り率全国トップクラスと評価されました。 ○高齢者の何れでも相談窓口である地域包括支援センターを市内11か所に配置しました。 ○知的や精神的障害のある方が市役所で働く機会を、民間企業等への就職を促進する制度をつきました。 ○全国に先駆けて市民参加型の防犯カメラを導入しました。 ○福島からの避難者を全国に先駆けて受け入れ、市内の放射能測定・除染対策を他市に先駆けて取り組みました。</p> <p>○松戸の駅「松戸駅」が新ビル建設に踏み出す事になりました。 ○市内にある道路照明等4,333灯をすべてLED化しました。 ○松戸の元気を取り戻すために企業誘致基金、中小企業支援金を予算化しました。 ○市政70周年記念事業を各地で展開しました。 ○松戸駅東、西口道路のバリアフリー化を進めました。 ○松戸市条例案、空き家の適正管理条例を制定しました。 ○防災行政無線の更新と基地局を増やしました。</p> <p>○給与水準が高いと報道された松戸職員給与を削減する等、行政改革により10%の人権費を削減するとともに、財政調整基金(約金)141億の積み増しを行いました。 ○市の管理者を4年間で161名削減し、管理費比率を23%→18%に管理費比率の適正化を図りました。 ○民間企業経営者の採用割合は県内第一です。 ○本部制を廃止し、部門連携がよりすいワフッな組織にしました。</p>	<p>○待機児童を名目なく実質ゼロを目指します。 ○中央図書館の新設を含め、文化の象徴である図書館政策を見直します。 ○生後3か月、1歳6か月、3歳児、小学校入学未検診者に対して全戸訪問を行い、児童虐待等の早期発見に努めます。 ○小中学校の冷房化、洋式トイレ化を進めます。 ○若手による「アーティスト・イン・レジデンス事業」「ポップカルチャー」等各種文化活動を支援します。</p> <p>○特別養護老人ホーム、認知症対応型グループホーム等の施設を拡充に努めます。 ○介護ボランティア制度をさらに拡充します。 ○高齢者にやさしい街をめざし、コミュニティバスの検討を開始します。 ○松戸在住のお子様を松戸市で送る時の支援を検討します。 ○新市立病院の早期開院を目指すとともに、小児・周産期医療のさらなる充実を図ります。</p> <p>○松戸駅ビルに連動し、東口周辺を文化ゾーンに、西口周辺をニュー商業ゾーンにし松戸駅を「松戸の駅」にするよう計画します。 ○新松戸、東松戸、六実、馬橋を始めとする各地域にあった街づくり計画をすすめていきます。 ○被災地・被災者受け入れ、被災地区・被災者への支援活動 ○市内ホストスポットの除染はば完了 ○学校を中心とした公共施設の新築化工事はH27年度までに完了予定</p> <p>○これまでの4年間は基金積み上げ期間、これからの4年間は投資期間と位置づけますが投資効果判断と徹底的なコスト削減にて実施していきます。 ○不良債権(含み損50億)を抱える土地開発公社を解散し、計画的な負債処理を目指します。 ○子供世代をターゲットとしたシニアプロモーション(松戸市のPR)を開始します。</p>

市民が主役 現松戸市長
昭和23年生まれ
東京大学卒業、新日鉄、コンサル会社をへて
平成18年松戸市市議会議員
平成22年松戸市長

「夢・窓口」を設置

これまでの懸案事項は解決
東日本大震災への対応
就任1年目に起きた東日本大震災への対応は全力を挙げ、市民の皆様のご協力もありクリア
○福島からの被災者受け入れ、被災地区・被災者への支援活動
○市内ホストスポットの除染はば完了
○学校を中心とした公共施設の新築化工事はH27年度までに完了予定

市立病院移転問題
懸案となっていた病院移転事業については、千駄堀移転建設で議会で承認されました。不調になっていた入札については、19社を対象に新たに応募を実施し建設業者を決定予定。
○場所:千駄堀 ○病室:900床
○開業期:救急医療の充実

ほんごうや 本郷谷 けんじ

特定の政党や団体にしばられないオールまつどで、ダイナミックに市政刷新！
自然と歴史が織りなす松戸らしさ、故郷まつどの創造を醸成します。

「まつどらしさ」の磨きあげ。11のゼロ政策を推進します！

①ワンにゃん・殺処分ゼロ (わんわん特区構想)
②振り込め詐欺、ひったくり等の犯罪ゼロ
③自転車事故ゼロ
④待機児童ゼロ
⑤幼児虐待ゼロ
⑥いじめゼロ
⑦孤独死ゼロ

⑧無駄遣いゼロ
⑨医療難民ゼロ
⑩帰宅困難者ゼロ
⑪原発依存度ゼロ

新病院建設は「東松戸」に!!
今度こそ!!

●3000あった事業を→およそ2700に圧縮。(事業仕分け)
●阪神大震災を教訓とし病院建設事業を見越して、16年間で約510億円の市債(借金)を削減。
●都計道路3・3・7号線の開通の早期解消により、新松戸の利便性を確保。
●緑花清流計画により、川に貼を確認。
●千葉大園芸学部の移転阻止。
●松戸白かぼちゃ(宇宙かぼちゃ)を復活し、他市との交流を結び。
●流通経済大学の誘致に成功。
●平成19年青バトを考案し、全国に先がけて3台導入。
●全国モデルとなった、夜間小児救急まつど方式を医師会と連携して構築。
●常磐線東京駅乗り入れに伴う松戸駅舎の改造。

川井敏久の実績

https://www.facebook.com/my.heart.matsudo →

かわいとしひさ
川井敏久
無所属

復活! あこがれの街、まつど。

【人口減・介護・子育て/家庭が真ん中/三世代交流の地域づくり支援】

<p>三世代であこがれのベッドタウン再生</p> <ul style="list-style-type: none"> ●集合住宅の再生を! 集合住宅対策を中心に少子高齢化時代に即した三世代交流コンパクトシティーを。 ●地域がひとつ屋根の下 松戸生まれの若年層を呼び込む三世代地域内同居支援。 ●防災・防犯体制の強化で、三世代が安心安全な街づくり。 	<p>三世代で守る子育て日本一まつど</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公立保育所の弾力的運用等で待機児童解消し、働く親の負担軽減策を早急に実施。 ●三世代で育む教育都市まつど 地域人材を活用した家庭と地域の教育力向上 まつど版土曜授業の実施 全学校施設の冷房化実施 	<p>三世代安心・生涯現役・メディカルネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新市立病院を核としてICT技術を活用した次世代医療介護体制の構築で、地域医療ネットワークを強化! ●予防医療の観点からスポーツや健康推進事業の充実強化で健康寿命日本一! ●小児・周産期医療の充実!
--	---	---

その先の未来へつながる【成長戦略】

東京五輪誘致活動を起爆剤に
〈国、県の協力と支援にて展開〉 → 政権与党の推薦候補だから国や県に一直線!!

- 松戸の玄関、松戸駅ビル、大型宿泊施設の誘致
- 松戸駅周辺再開発活性化
- 公共施設の再編整備
- スポーツ健康推進都市構想
- 北千葉道路等全面開通
- 常磐線小田急線乗り入れ増便

杉浦誠一 せいいち
twitter.com/seiichi_sugiura
facebook.com/sugiura.seiichi.kouenkai

無所属新人
自民党 推薦
公明党 推薦

決められる市政へ!

今松戸市は人口減少が始まり、借金は増え、団地再生や公共施設の二斉更新など街全体を再編しなければならない時期にきています。
今決めなければならない事が山積する中、良い事は言うだけでなく、限られた財源の中で確実に成長戦略を押し進め、国県周辺市と協力しながら「実行」できる市政が求められています。
今こそ、決められる市政を実現し「あこがれの街まつど」を取り戻しましょう!!

すきごう 杉浦誠一 せいいち

何よりも 市民のくらし第一に

1 安倍政権の暴走から市民を守る

安倍政権いなりでは市民のいのちと暮らしを守れません。憲法を守り、消費税増税や社会保障の解体にはつきりノーと言え、市長がいまこそ必要です。

●くらし破壊の消費税増税はストップを
●集团的自衛権容認許さず、憲法の条を守ります
●原発再稼働許さず、自然エネルギーの推進を

2 公約をキチンと守る市政

「市立病院は現地建替え」と無責任な公約で当選し撤回。「国保料引き下げ」等の公約も破る。これでは市政は変わりません。

●緊急に国保料は一世帯1万円引き下げます
●介護保険料・利用料を引き下げ、負担を軽減します
●松戸市立病院は、情報を公開し早期に千駄堀に建設します。

3 ため込んだ税金はくらしに

自由に使える財政調整基金は、4年間で55億円増え約75億円です。市民のくらしを応援し、福祉充実に使って下さい。

●待機者は1742人。特別養護老人ホームの増設を
●公有地も活用し、認可保育所の増設で待機児童解消を
●市内巡回型のコミュニティバスを走らせませす

●略歴 1942年栃木県那須町生まれ。働きながら法政大学卒業。労働組合役員、4中PTA役員など歴任。現在、日本共産党松戸市議団副団長(7期)、五香在住。

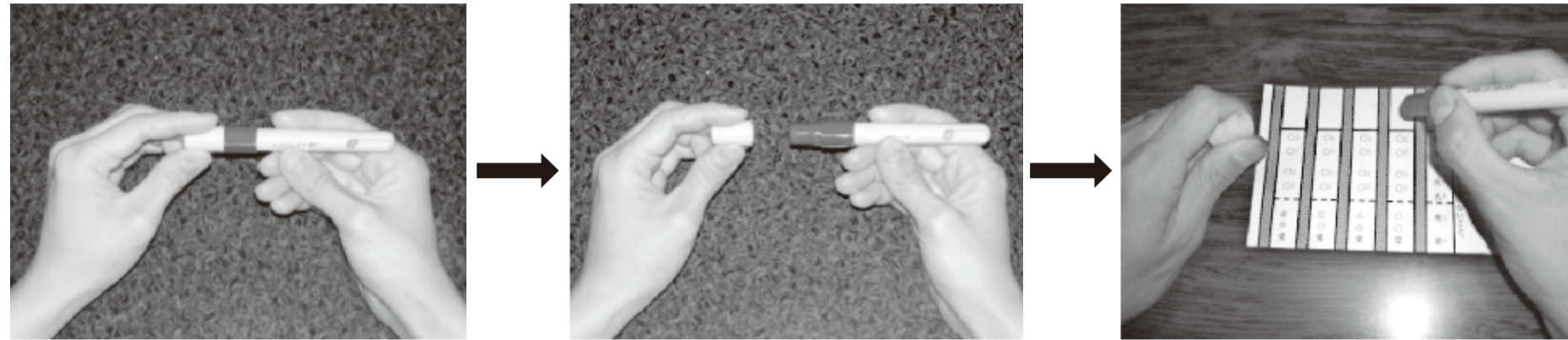
伊藤よいちろう
日本共産党公認

備考：この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版して印刷したものです。

市長選挙は記号式投票です

※期日前投票、不在者投票及び点字投票は、候補者氏名を投票用紙に記載する自書式投票になります。

【記号式投票のしかた】



この選挙の投票は、『松戸市長選挙等における記号式投票に関する条例』の定めるところにより、記号式投票となります。この投票は、松戸市選挙管理委員会が調製する候補者全員の氏名を印刷した投票用紙を使用します。

投票方法は、自分の支持する候補者氏名の上にある『○印をおす欄』に、『○記号印』を押印して投函する方法となりますので、次のことについてご注意ください。

- (1) 投票しようとする候補者一人について、投票用紙の所定欄に備え付けの『○記号印』を一つ押してください。
- (2) 『○記号印』のほかは、何も書かないでください。
- (3) 備え付けの『○記号印』を用いずに、鉛筆やボールペン等で○記号をつけると、その投票は無効となりますので、ご注意ください。
- (4) 『○記号印』を誤って他へ押してしまった等、押し損じた場合は、投票用紙をおとりかえますので、投票所係員に申し出てください。

1. 投票用紙の様式

				○印をおす欄	候補者氏名	党	派
丁里 梅子	丙山 一男	乙竹 花子	甲野 太郎			○党	○党
無所属	□党	△党	○党			○党	○党

○ 注意
投票しようとする候補者一人について、その氏名の上の印をおす欄に記号印をおすこと。○記号印のほかは、何も書かないこと。

2. 良い投票例（有効投票）

				○印をおす欄	候補者氏名	党	派
丁里 梅子	丙山 一男	乙竹 花子	甲野 太郎	○		△党	○党
無所属	□党	△党	○党			△党	○党

3. このような投票は無効となります。

○	×	×	×				
丁里 梅子	丙山 一男	乙竹 花子	甲野 太郎				
無所属	□党	△党	○党				

				○印をおす欄	候補者氏名	党	派
丁里 梅子	丙山 一男	乙竹 花子	甲野 太郎	○		○党	○党
無所属	□党	△党	○党			○党	○党

				○印をおす欄	候補者氏名	党	派
丁里 梅子	丙山 一男	乙竹 花子	甲野 太郎	○		○党	○党
無所属	□党	△党	○党			○党	○党

・・・小さいが 政治のかじ取る 重き票・・・

松戸市長選挙投票日 **6月15日** 午前7時～午後8時

みんなそろって投票しましょう！！